

学 校 名	小金井市立東中学校	実施年月日	平成17年 2月22日
指 導 者	中村 宗孝	授業コード	C-8
学 年	2年	教 科	理科
単 元 名	(4)ーイ 天気の変化		
単 元 の 目 標	霧や雲の発生についての観察、実験を行ない、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けてとらえること。		
単元の指導計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 霧や露はどのようにしてできるのか（1・2時間目）</li> <li>② 雲はどのようにしてできるのか（3・4 [本時]時間目）</li> </ol>		
本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雲の中で水滴や氷の粒がどのようにして大きくなり、雨や雪として降ってくるか理解させる。</li> <li>・ 高気圧や低気圧のつくりや、その中心付近や周りではどのような空気の流れているか理解させる。</li> <li>・ 対流圏での水の循環がどのように行なわれているかを理解させる。</li> </ul>		

#### 本時の学習活動の展開

導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の復習 上昇気流によって雲が発生するまでの様子を確認する。(コンテンツ①)</li> </ul>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨や雪が降るまで 雨や雪として水が降ってくるまでに、雲の中の水滴や氷の粒が雲の中でどのように動き、大きくなっていくかを理解する。</li> <li>・ 高気圧、低気圧 高気圧や低気圧がどのように発生し、それらがどのようなつくりになっている、中心付近や周りではどのような空気の流れになっているか理解する。 (コンテンツ②)</li> </ul>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水の循環 対流圏での大気の流れに伴って水がどのように変化しながら、どのような経路で循環しているか理解し、いままで学習してきたこととの関わりを考える。</li> </ul>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>①雲の発生 空気が上昇して雲が発生するメカニズムを動きのある画像で見せる。</li> <li>②高気圧・低気圧 高気圧や低気圧のつくりやそれらが周辺の天気にはどのような影響を及ぼすかを見やすい画像で確認する。</li> </ol>